知っていますか?

ードメスティックバイオレンスー



ロVとは

配偶者(事実婚を含む)や同居している(いた)交際相手である(あった)相手から受ける暴力のことです。離婚前に暴力を受け、離婚後も引き続き暴力を受ける場合も含みます。男性・女性問わず、被害者になり得ます。

暴力の種類-暴力は身体への暴力だけじゃないー

身体的暴力

殴る・蹴る・首を絞める・物を投げつける・髪をひっぱる・腕をつかむ

精神的暴力

大声で怒鳴る・脅す・バカにする・何を言っても無視する・大切なものを壊すまたは捨てる・物を殴る、蹴る・人格を否定するような暴言を吐く・自殺をほのめかす

社会的暴力

友人や身内との付き合いを制限する ・外出を制限する ・スマホをチェックする ・ 人間関係・行動を監視する

経済的暴力

生活費を渡さない ・お金、クレジットカードを取り上げる ・外で働くことを嫌がる ・家計の責任を負わせる ・借金の強要

性的な暴力

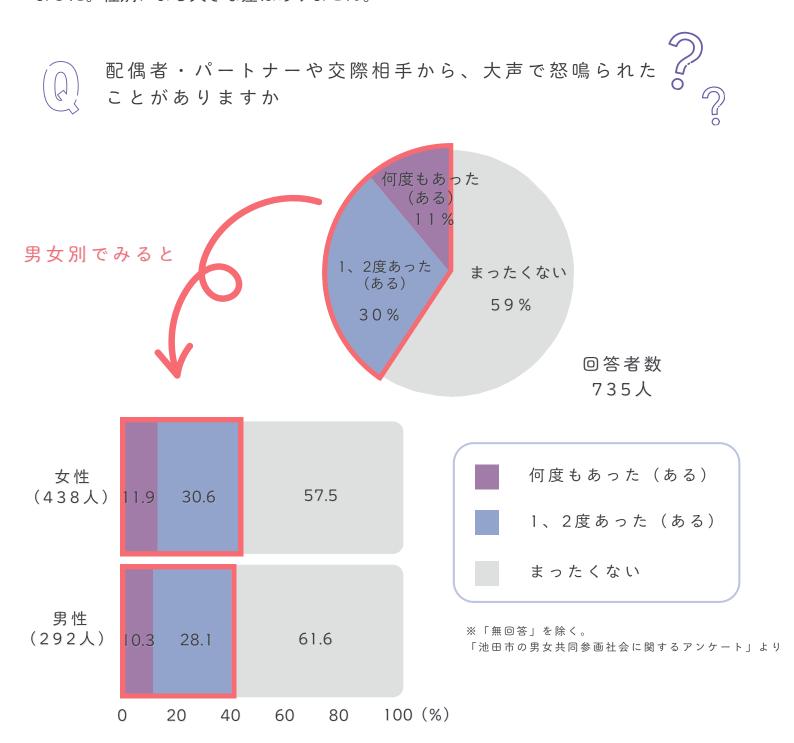
望まない性行為を強要する ・身体や性に関して傷つけることを言う ・避妊に協力しない ・見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる ・裸の写真を撮る、SNSで流す(と脅す)

子どもを利用した暴力

子どもに危害を加える ・子どもを取り上げようとする ・子育ての責任を負わせる ・子どもの前で非難する ・子どもに悪口を吹き込む

内閣府「男女間の暴力における調査」(2023(令和5)年度調査)によると、結婚したことのある人の4人に1人は、配偶者から何かしらの暴力を受けたことがあると認識しています。

また、同年度に池田市で実施した市民意識調査によると、配偶者・パートナーや交際相手から、 大声で怒鳴られたことが「何度もあった」「1、2度あった(ある)」と回答した人が<u>約5人に2人</u> いました。性別による大きな差はありません。



大声で怒鳴ることは精神的暴力にあたります。一方的に恐怖や不安を感じ、配偶者やパートナーと対等な関係ではない場合、それはDVにあたるかもしれません。

あなたとパートナーとの関係で思い当たることはありませんか?

- 相手をこわいと感じる
- 相手に自分の本音を言えない
- 常に相手の機嫌をうかがってしまう
- 相手の機嫌が悪いと自分のせいだと思ってしまう
- 自分の考えより相手の考えを優先してしまう
- 相手は、うまくいかないことがあると、あなたのせいだと責める
- 相手が帰ってくる時間になると緊張する
- 相手はあなたを傷つける言動をしたあと、人が変わったように優しくなったり、 謝ったりする
- 相手は、あなたが性行為に応じることを当然だと思っている

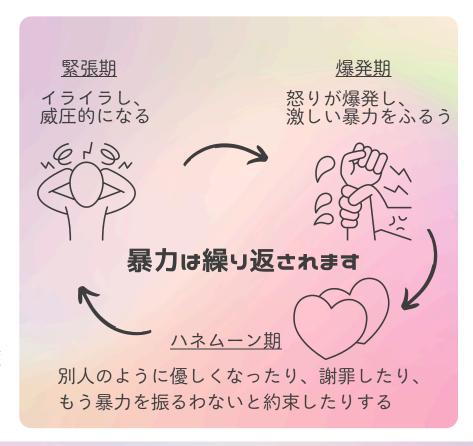
複数の項目にあてはまる場合、あなたとパートナーの関係は対等とはいえません。

ロVのサイクル

DVには一般的にサイクルがある といわれています。

DVを行う加害者の多くは、暴力をふるったあとに、別人のようにやさしくなったり、反省の色を見せたりします。

このような変化に、被害者は今度 こそ相手が変わってくれるのではな いかと期待してしまいます。



コVe児童虐待の関係

子どもが見ている前で、夫婦間で暴力をふるうことを面前DVといいます。子ども自身が直接暴力を受けている場合は当然ですが、面前DVは心理的虐待にあたります。

ロVが子どもに与える影響

DVは、子どもの成長にとって大切な、安全・安心を根底から壊してしまいます。 そして、子どもの心や体に様々な影響を与えるといわれています。





身近で起こっているデートロン

暴力は配偶者間のみではなく、あなたの身近にも起こっているかもしれません。交際相手との間で起こる暴力をデート DVといいます。相手が思いどおりになるのが当然と考え、コントロールしようとする態度や行動をとります。



他の人と仲良くすると責める

無視する、怒鳴る、バカにする

常に行動をチェックする

自分を優先しないと怒る



いつもおごらせる、 高額なプレゼントを要求する

無理やり性行為を求める

気に入らないと叩く・蹴る

SNS等の返事が遅いと激しく怒る

このような言動をしたり、されたりしていませんか?交際相手との間でこんなことがあったら、お互いが対等な関係ではなくデートDVの可能性があります。 自分のことをまず大切にし、そして相手のことも大切にしましょう。

ロVかなと思ったら

これってDVかなと感じたら、ひとりで抱え込まずに、裏面の相談窓口に相談してください。

ロV被害について相談されたら

多くの被害者は、暴力をふるわれたのは自分のせいだ と自分を責めてしまいます。

「あなたは悪くないよ」

「話してくれてありがとう」

と伝えてください。

「愛されているからじゃない」 「あなたにも悪いところがあったんじゃない」

などと被害者を責めるようなことは言わないようにしましょう。そして、専門機関へ相談するよう伝えてください。被害を受けた方の4割は、「友人・知人」「家族・親戚」に相談しています。身近にいる人がDVの知識を持つことがとても大切です。

池田市緊急一時保護· 避難支援制度

緊急のため、所持金のないDV被害者等を対象として、市が指定する施設に3泊を限度として宿泊が可能です。また、公的施設等に避難する際に必要な交通費を支給します。(限度額あり)





相談窓口

池田市人権・文化国際課 DV相談

午前9時~午後5時 (土・日・祝日、年末年始を除く) 072-754-6231

池田市ダイバーシティセンター 女性相談

【専門相談】

毎週月曜日、第1・第3土曜日、 第4木曜日、第2金曜日 (祝日、年末年始を除く) いずれも午後1時、2時、3時の3枠

事前予約制

1人50分

【電話相談】

火・水・金曜日 午前10時~午後3時

1人30分

<u>予約・相談ダイヤル</u> 072-768-8034

月曜日~土曜日 午前9時~午後5時

DV相談プラス

チャットで専門の相談員 に相談できます

午前12時~午後10時



大阪府女性相談センター 女性相談、DV相談

短縮ダイヤル #8778 はなそうなやみ

平日午前9時~午後8時 土・日午前9時~午後5時

夜間・祝日DV電話相談・・・上記以外の時間 外国人専用相談・・・月-金曜日 午前9時~5時30分 (祝日・年末年始を除く。)

> 06-6949-6022 06-6946-7890(夜間・祝日)

> > 箕面子ども家庭センター DV相談専用電話

午前9時00分~午後5時45分 072-737-6895

男性のための電話相談 (主催:大阪府 実施運営:ドーン財団)

専門の男性相談員が電話をお受けします。

第1・第4水曜日 午後4時~8時 第2・第3土曜日 午前11時~午後3時

06-6910-6596



発行:2024(令和6)年 池田市 市民活動部 人権・文化国際課 ダイバーシティセンター